

進路通信



第3号 令和6年7月19日

東京都立武蔵台学園

校長 金子 猛

進路指導部

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

第3号では、小学部5年、中学部3年、高等部1年で実施いたしました、進路行事についてご紹介いたします。

小学部5年



高等部作業見学

<ねらい>

- (1) 高等部の生徒が校内を清掃する姿を見学する。
- (2) 見学や体験を通して、働くことへの興味・関心をもつ。

6月25日(火)に、小学部5年生が高等部作業班を見学しました。「高等部とは?」「作業とは?」「お仕事とは?」など事前の学習を行った上で、7つの作業班を回りました。初めて見る道具や活動に興味津々で、中には、積極的に質問をする児童の姿も見られました。また、高等部の先輩たちが黙々と作業をする姿を見て、「すごい!」「かっこいい!」と憧れを抱く児童の声も聞こえました。身近な先輩たちが作業する様子を見学して、少し先の未来をイメージしたり、「働く」ことへの興味・関心を高めたりすることができました。



中学部3年 就業体験

<ねらい>

- (1) 職場見学を通していろいろな職業に関心をもつ。
- (2) 進路や将来の生活について意識したり考えたりする機会とする。

6月11日(火)に、武蔵野線北府中駅にある「特例子会社 東芝ウィズ株式会社」へ行ってきました。

東芝ウィズ株式会社 府中事業所は、清掃業務を主に請け負っており、ウィズのモットーは「あいさつは自分から」、必要な力は「明るく元気で健康」であること等、たくさんのお話が聞けました。また「自転車に乗れること」は絶対条件のようです。東芝の敷地内は大変広く、一人一台の自転車が会社で用意されていることを聞かされると、生徒から「すごい」と歓声が上がりました。

続いて特別支援学校卒業生の先輩から清掃の実演を見せていただきました。掃除機の組立から清掃方法まで丁寧に説明してくれました。実際にやってみたい人を募ったところ、7名の生徒がチャレンジしました。どの生徒も指導員さんの説明通りに清掃することができて、自信がもてた様子でした。

最後の質問コーナーでは、「仕事は何時から何時ですか」「休み時間はありますか」「休んでも平気ですか」「休みの日は何をしていますか」など、学生らしい素直な質問にも丁寧に答えていただきました。

終始リラックスした良い雰囲気の中で、「働くこととは」を考える有意義な時間を過ごすことができました。「挨拶は自分から」を意識して、今後の学校生活へ生かしていきます！



東芝エレベータ 135m



先輩による清掃の実演



清掃体験

高等部 1年 進路見学

<ねらい>

- (1) 実際の進路先（企業・福祉施設）を見学し、様々な仕事や活動があることを知る。
- (2) 働くための態度や心構えを学習する。
- (3) 公共の場でのマナーを身に付ける。

6月21日（金）、4グループに分かれて事業所や企業等を見学しに行きました。1グループは、「府中はるみ福祉園」と「府中さくらの杜」、2グループは、「福祉工房こぶし」と「喫茶たんぼぼ」、3グループは、「オリックス業務支援株式会社」と「チャレンジドジャパン立川センター」、4グループは、「富士電機フロンティア株式会社」と「ディーキャリア立川オフィス」を、見学しました。

仕事をする上で大切なことや、社会人に向けて必要なことについて「ミスをしないうによく確認すること」「報・連・相をしっかりとすること」などを教えてもらいました。働くことへのイメージが少しもてたと思います。当日は豪雨でしたが、カッパを着たり、傘をさしたりしながら、長い距離を歩き、電車やバスを利用して行くことができました。日々の学校生活、日常生活の中で必要な力については取り組み、作業学習や職業の授業では、今回学んだ「確認」や「報・連・相」などを意識しながら社会人になるための基礎を築いていきます。



さくらの杜



喫茶たんぼぼで昼食



オリックス業務支援



ディーキャリアでP C



卒業までに身に付けてほしいこと



高等部を卒業すると、社会人としての生活が始まります。一般就労、福祉的就労とお子さんや親御さんの希望で様々な道に進むことになります。どのような進路選択をしても、社会生活を有意義に過ごすために、以下の項目について、ご家庭でも心掛けていただければ幸いです。具体的にどんなことを取り入れていけばよいかお悩みのご家庭は担任、又は進路指導担当にご相談ください。

(1) 挨拶

コミュニケーションの基本です。一朝一夕に身に付くものではないので、ご家庭、学校と合わせて練習していきたいと思います。どの事業所においても「挨拶」を大切にしています。



(2) 服装・身だしなみについて

清潔に心掛け、髪の毛やつめ、中学生・高校生はひげなど、身だしなみについて日頃から意識できることが大切です。

(3) 手伝いについて



簡単なこと（食器を運ぶ、靴を揃えるなど）でも、保護者の方々がやっている家事を分担する意識を高めていただくと良いです。家での手伝いは家庭での本人の役割として、責任感・達成感・働くことで感謝される喜びを育てるだけでなく、手先の巧緻性の向上なども高め、実際の仕事に結び付くこともあります。

(4) 生活リズム

高等部では、現場実習があります。いつもと違う生活になるので、体調管理が重要になります。また、卒業後の生活を考えると、日中活動に備えた家庭での生活が通常です。リラックスできること、休養、栄養の補充、夢中になれること、好きなことがあるなどが考えられます。卒業後の余暇活動も視野に入れた良い習慣作りを心掛けてください。



(5) 交通機関の利用

将来、企業就労もしくは就労継続A型、B型、就労移行支援を希望される方は、交通機関の利用（乗換や乗車時のマナーなど）について、日頃から経験を積んでおく方が良いです。交通機関を使えることで、進路先候補の幅が大きく広がります。ぜひ、休日を使って外出を楽しんでください。

